

平成30年12月21日（金）
国土交通省関東地方整備局
東京都建設局
東日本高速道路（株）関東支社
中日本高速道路（株）東京支社

記者発表資料

東京外かく環状道路（関越～東名）事業連絡調整会議（第7回） 開催結果について

本日開催した、東京外かく環状道路（関越～東名）事業連絡調整会議（第7回）の概要をお知らせします。

会議の概要は以下のとおりです。

<開催日時・場所>

平成30年12月21日 10時00分～11時00分
九段第3 合同庁舎15階 第二会議室

<構成機関>

国土交通省関東地方整備局
東京都
東日本高速道路（株）関東支社
中日本高速道路（株）東京支社

<議事について>

議事の概要は別紙のとおり

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局道路部
道路計画第一課長 松實 崇博（まつみ たかひろ）
TEL 048-601-3151

東京都建設局三環状道路整備推進部
整備推進課長 周郷 友義（すごう ともよし）
TEL 03-5320-5171

東京外かく環状道路(関越～東名)
事業連絡調整会議(第7回)結果の概要(速報)

平成30年12月21日(金)
国土交通省関東地方整備局
東京都建設局
東日本高速道路(株)関東支社
中日本高速道路(株)東京支社

国土交通省関東地方整備局、東京都、東日本高速道路(株)関東支社及び中日本高速道路(株)東京支社の4者は、今回の事業連絡調整会議において下記の事項を確認した。

1. 用地について

- ・H30.3～H30.11の9ヶ月間で、全体の用地進捗率は約9割(残件数－128件)となり着実な進捗がみられるが、未だ用地全体で358件の残件があること。
- ・区分地上権取得部の用地進捗率は78%、245件の残件があり、厳しい状況であること。

2. 埋蔵文化財調査について

- ・全体の調査進捗率は87%となった。

3. 工事について

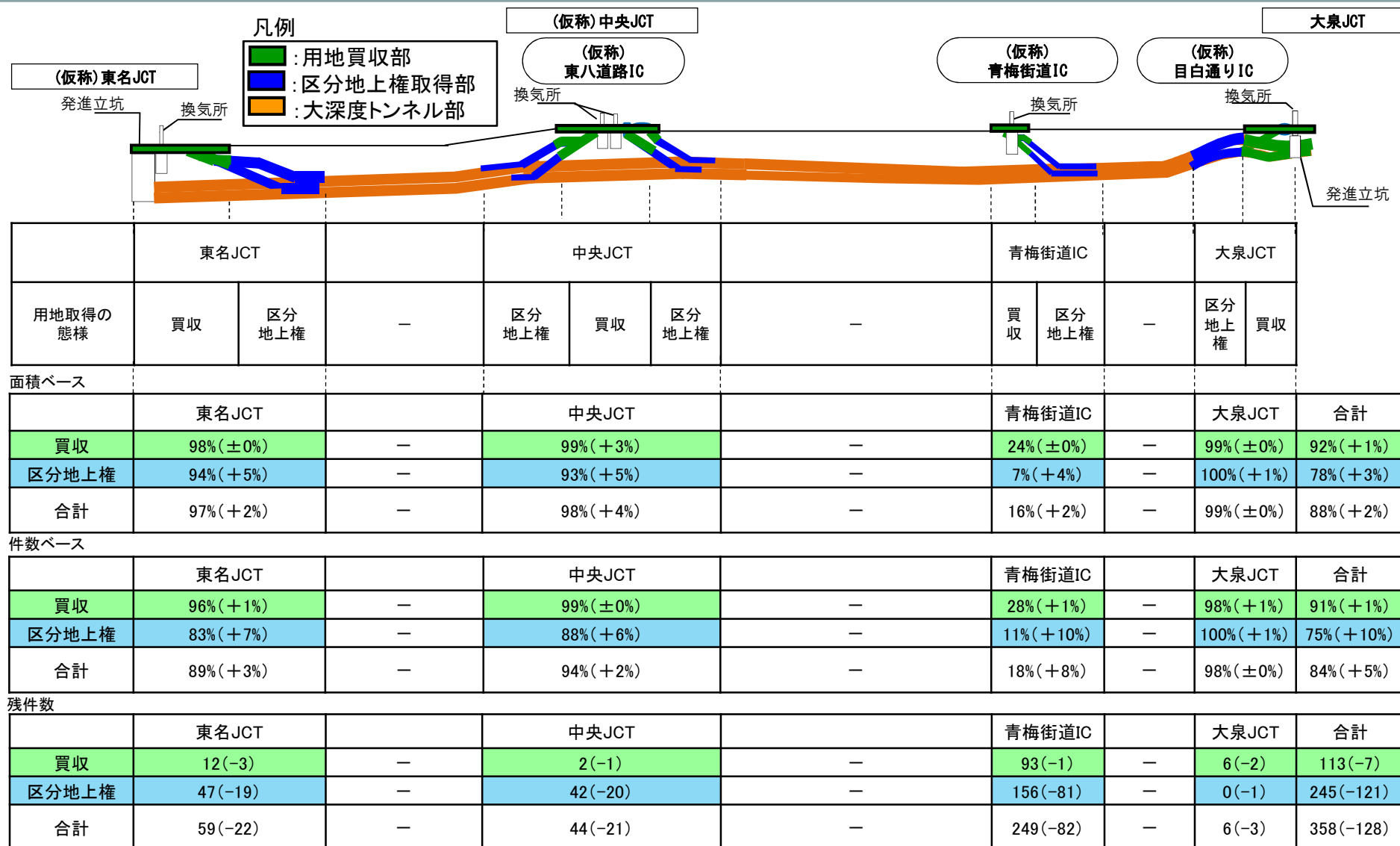
- ・東名JCTにおける地下のシールド工事の掘進時に使用する空気の一部が地上に漏出する事象について、発生メカニズム及び生活環境に影響がないことを確認するとともに、今後の掘進方法について確認した。
- ・大泉側の本線シールドトンネルについては、シールドマシン組立てが進み、来年1月26日に発進式を開催すること。
- ・中央JCT地中拡幅工事のうち北側について、NEXCO東日本が9月に新たな契約手続きを開始したところであること。

○用地・工事それぞれに課題が多くあり、具体的な開通時期を見通すことは困難としてきたところであるが、引き続き、国、東京都、NEXCO東日本及びNEXCO中日本は相互協力の下、安全を最優先に工事を進め、早期の開通に向けて取り組むこと。

東京外環 用地取得の状況

H30年11月末

資料1



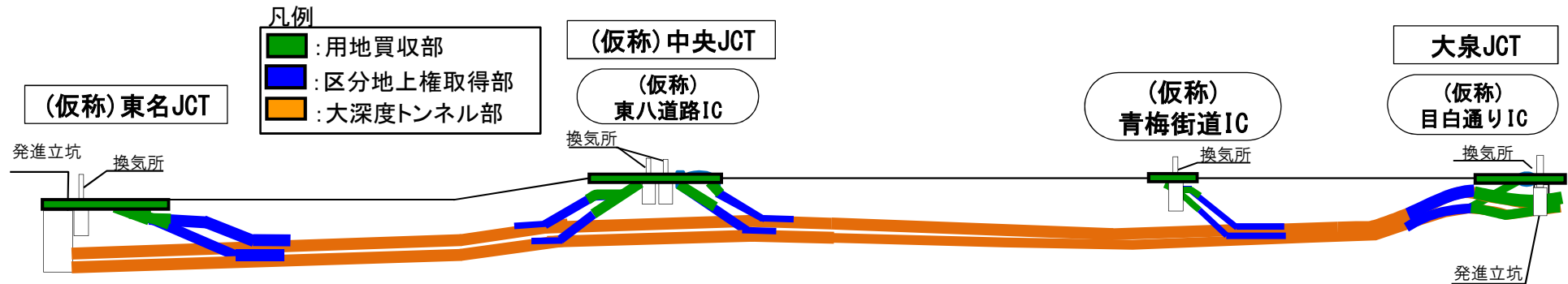
※用地取得は、国、東京都、NEXCO東日本、NEXCO中日本が分担して実施
 ※用地買収部については平成26年度より土地収用法に基づく収用手続きを活用中
 （事業者からの裁決申請・明渡裁決申立後は東京都収用委員会において手続きを実施）

※()内の数値は、H30年2月比

東京外環 埋蔵文化財調査の状況

H30年11月末

資料2



埋蔵文化財調査対象地のうち着工可能な面積の割合

	東名JCT	中央JCT	青梅街道IC	大泉JCT	合計
進捗率	96% (±0%)	100% (+1%)	0% (±0%)	100% (+1%)	87% (±0%)

※東京都との調整により調査必要範囲を事前に確定
 ※調査必要範囲について、工事着工前に区市の立ち会いのもと試掘調査(確認調査)を実施し、その結果を踏まえ、必要に応じて東京都にて本掘調査を実施

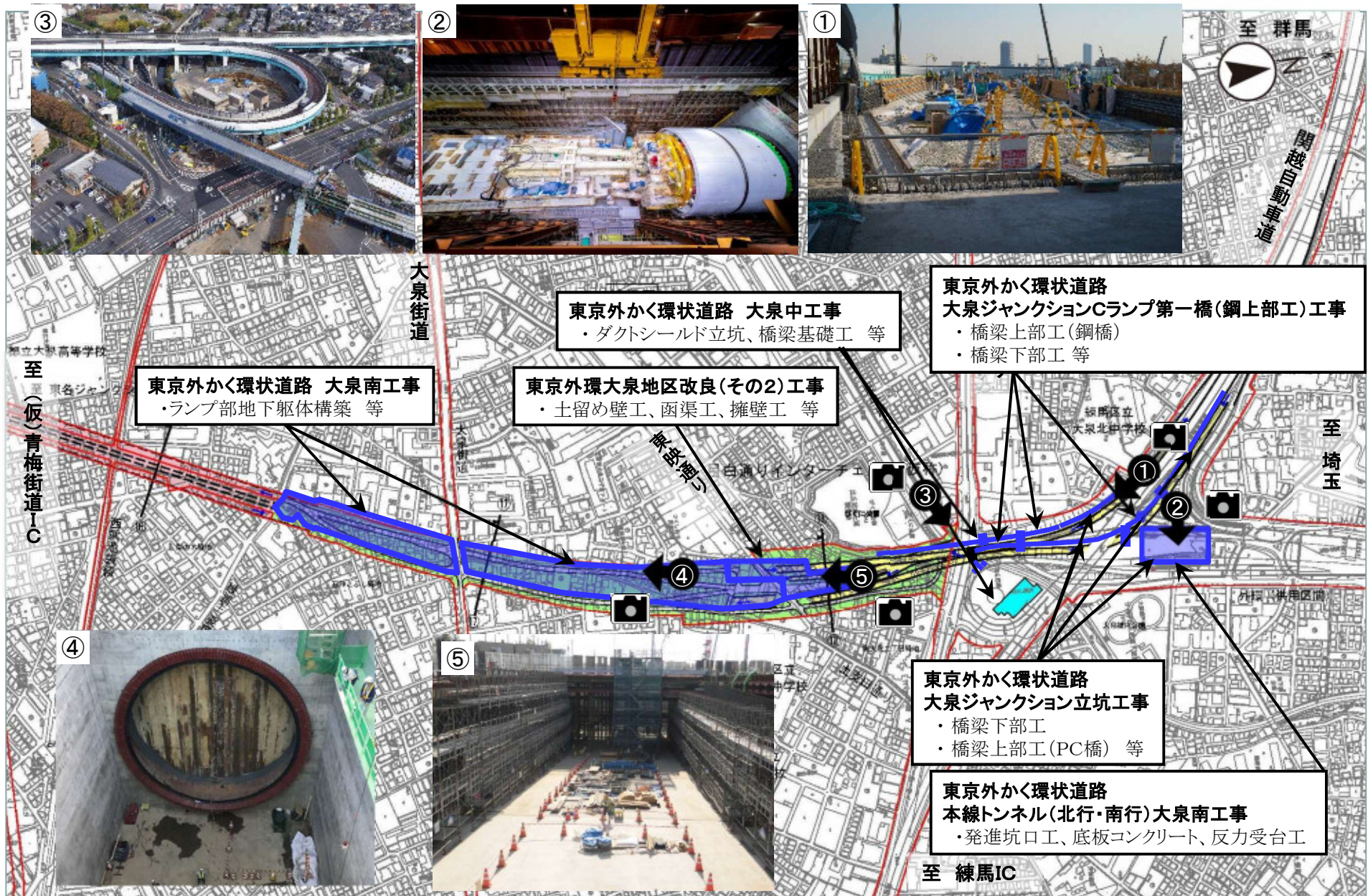
※()内の数値は、H30.2月比

$$\text{※進捗率} = \frac{\text{調査済み面積}}{\text{調査対象面積}}$$

工事実施状況（大泉JCT）

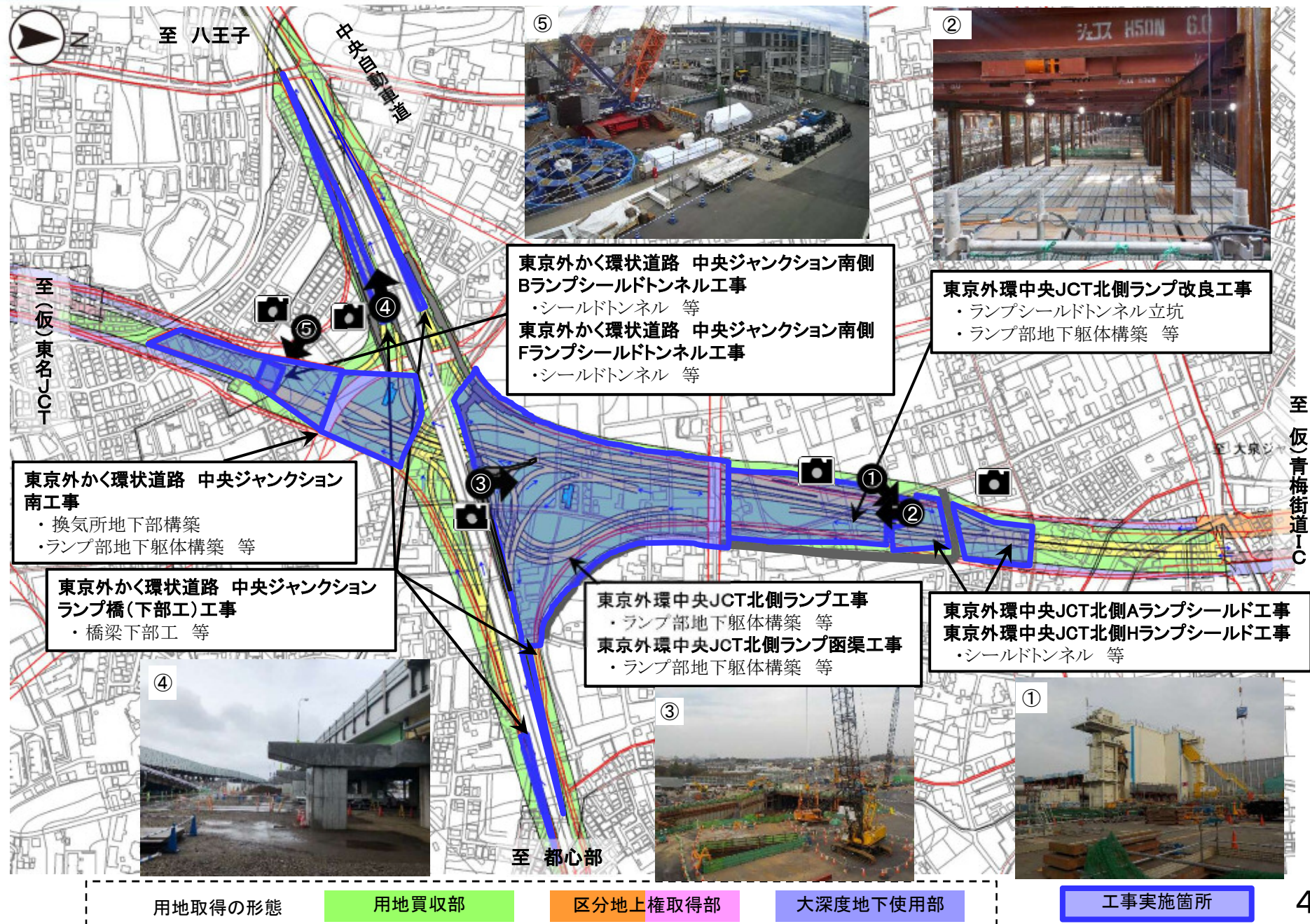
H30年12月現在

資料3



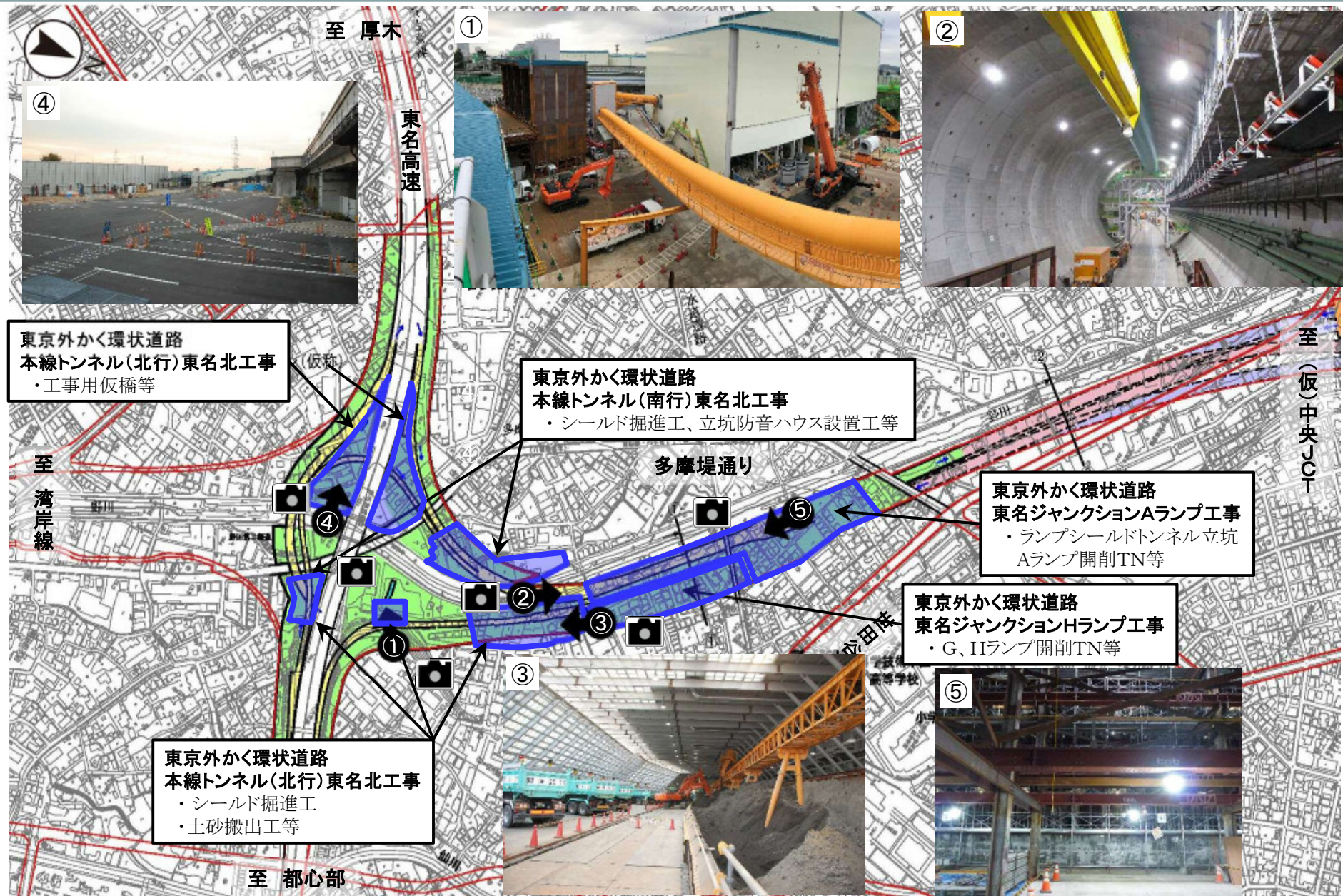
工事実施状況（中央JCT）

H30年12月現在



工事実施状況（東名JCT）

H30年12月現在



用地取得の形態

用地買収部

区分地上権取得部

大深度地下使用部

工事実施箇所

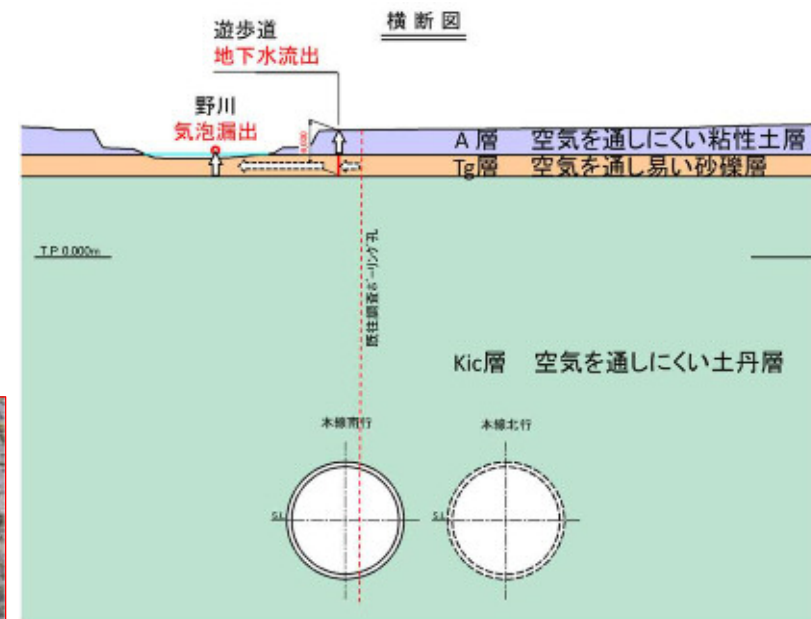
- 平成30年5月から7月にかけて東名JCT周辺の野川の水面等において漏気を確認
- この漏気について、下の内容を有識者に確認
 - ・大深度地下の大断面のシールド工事の掘進時に使用する空気の一部が、北多摩層まで到達している人工的な孔の隙間を通して上昇し、地上に漏出するメカニズムであること
 - ・地中から漏出した空気は、大気に比して微量であり希釈されるため、周辺環境に影響を与えるものではないこと。また環境調査を実施し、各測定値が基準値を満足していること

東名JCT周辺の野川の漏気状況



気泡漏出状況写真

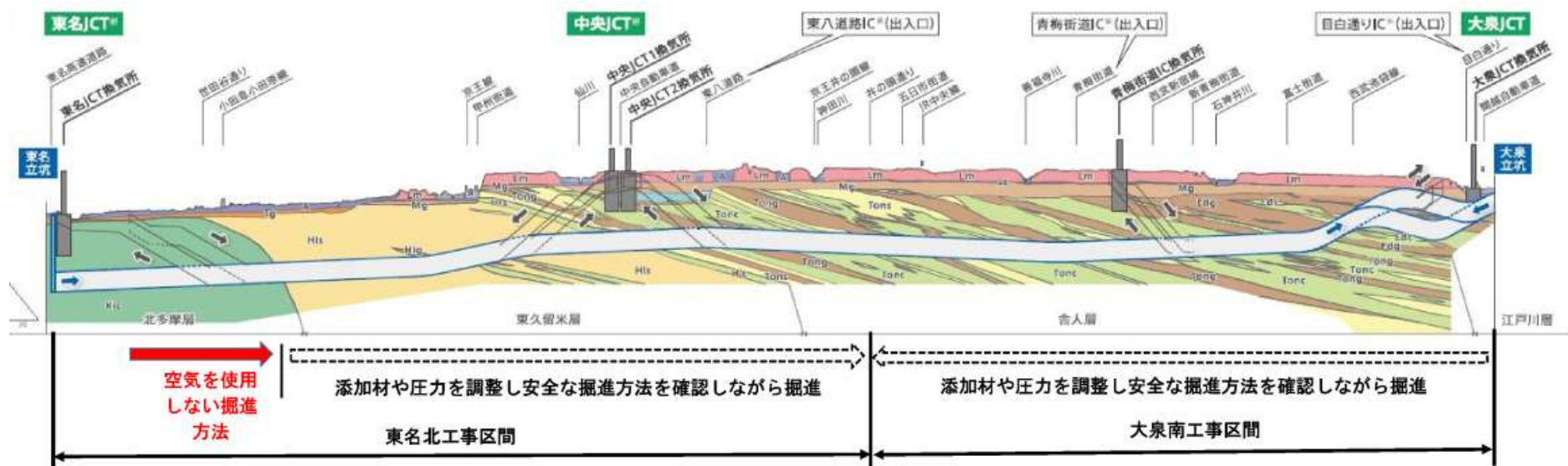
野川からの空気の漏出推定メカニズム



今後の掘進方法について

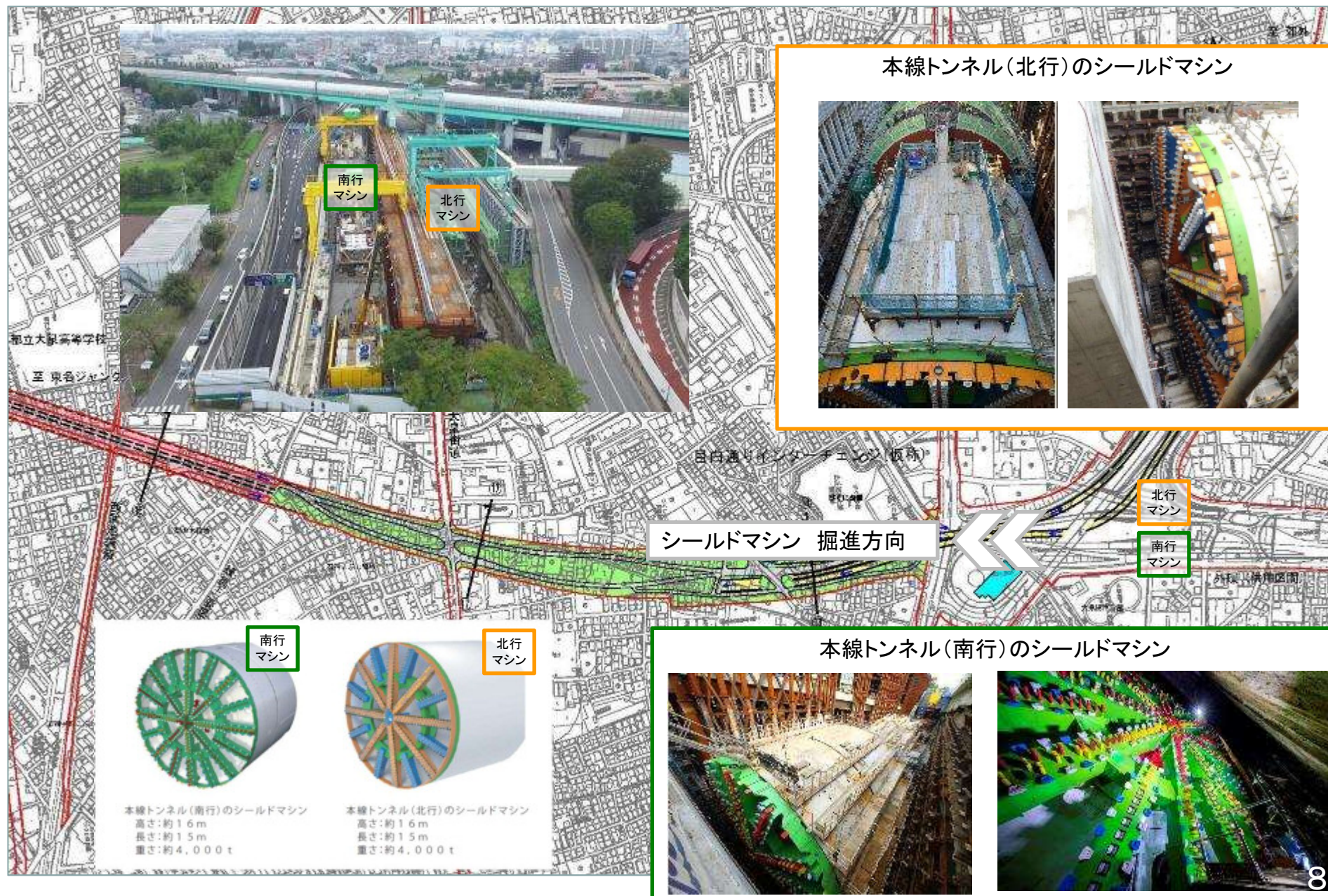
- 北多摩層では地上へ漏気を発生させることなく安全に掘進できた空気を使用しない掘進方法で掘進
- それ以外の地層においては、地質状況に応じて掘進時に使用する添加材や圧力を調整し、安全な掘進方法を確認しながら掘進
- 安心確保のため周辺環境のモニタリングを行っていく。

今後の掘進方法



大泉JCTのシールドマシンの組立状況

資料5

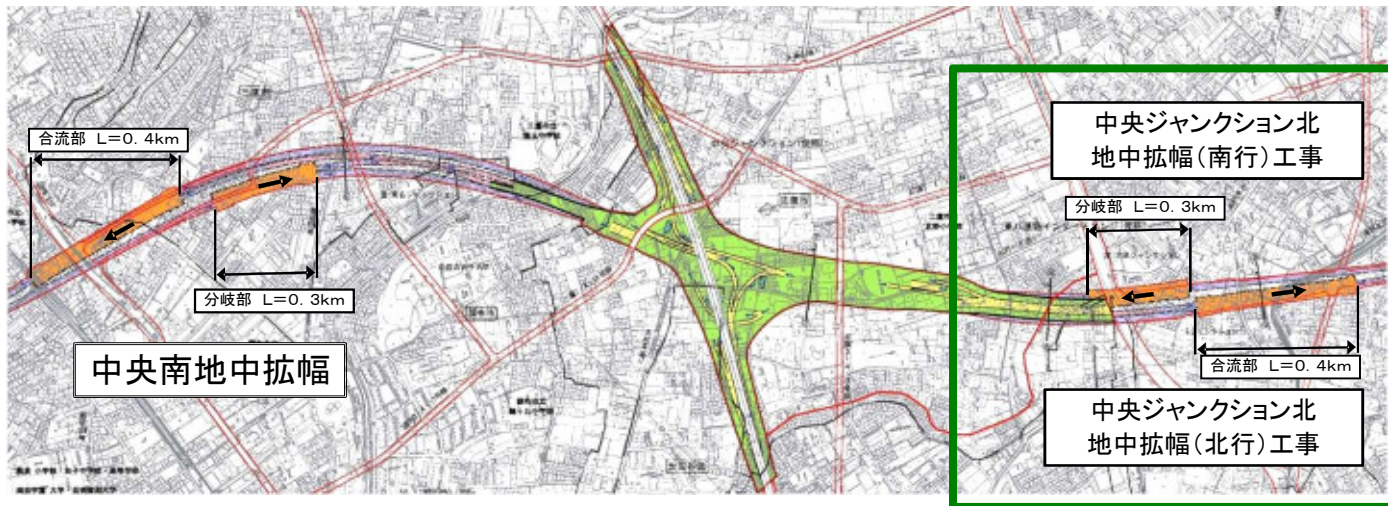


中央JCT地中拡幅工事について

東日本高速道路(株)

資料6

- NEXCO東日本は平成30年9月14日付けで、中央JCT北側の地中拡幅工事の手続きを開始
- 今後、詳細設計を契約し、設計完了後、工事契約を予定



＜新たな手続き開始までの経緯＞

H30.9.14 新たな手続きにより工事公告(NEXCO東)

東京外環トンネル施工等検討委員会の開催 (H30.1、H30.5)

- ・詳細な解析のため地質調査の追加調査の必要性を確認
- ・地質状況を踏まえ、南側、北側の地区毎の一貫した施工監理やモニタリング等の技術検証の必要性を確認

中央JCT地中拡幅部(北地区)技術評価委員会の設置・意見聴取 (H30.8)

- ・中立かつ公正な審査・評価を行うため、学識経験者で構成する技術評価委員会を設置し、技術提案の評価項目・評価基準等について意見聴取を実施

新たな手続き開始の公示:技術提案・交渉方式(設計交渉・施工タイプ) (H30.9)

- ・複数の技術について詳細な技術的検討・検証が可能な方法を採用